

52 巻 (2019 年)

5 号 (7-8 月号)

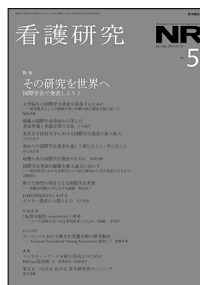
その研究を世界へ 国際学会で発表しよう 2

大学院生の国際学会発表を促進するために 深堀浩樹／複数の国際学会発表から学んだ発表準備と英語学習の方法 小玉淑巨／東京女子医科大学における国際学会発表の取り組み 小川久貴子／初めての国際学会発表を通して感じたこと・学んだこと 室矢明日香／収穫のある国際学会発表のために 武村雪絵／国際学会発表の経験を修士論文に活かす 高橋好江／新たな研究の萌芽となる国際学会発表 堀内成子／EAFONS2019 におけるポスター発表から得たもの 穴戸恵理

特別記事 ● 「転用可能性 (transferability)」再考 (後編) 家高洋

SCOPE ● ヨーロッパにおける異文化看護分野の研究動向 齋藤真希

連載 ● インタビューデータ分析の質向上のための NVivo 活用術・3 萱間真美, 杉浦寛奈
／集まる つながる 広がる 若手研究者のバトン・7 深谷基裕



4 号 (増刊号)

特集 臨床実践を研究につなげる

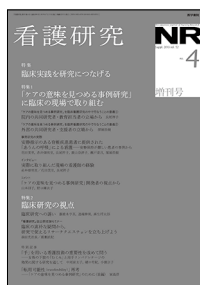
特集 1 「ケアの意味を見つめる事例研究」に 臨床の現場で取り組む

院内の共同研究者・教育担当者の立場から 長尾祥子／外部の共同研究者・支援者の立場から 深堀浩樹／安静指示のある脊椎疾患患者に提供された「あうんの呼吸」による看護 花田美里, 赤井畑明里, 長尾祥子, 廣山奈津子, 瀬戸菜月, 深堀浩樹／実際に取り組んだ現場の看護師の経験 赤井畑明里, 花田美里, 長尾祥子／「ケアの意味を見つめる事例研究」開発者の視点から 山本則子, 野口麻衣子

特集 2 臨床研究の視点

臨床研究への誘い 藤雄木亨真, 道端伸明, 麻生将太郎／臨床の素朴な疑問から, 研究で使えるリサーチクエスチョンを立ち上げよう 森田光治良, 廣瀬直紀

特別記事 ● 「手」を用いる看護技術の重要性を改めて問う 中尾富士子, 樋口有紀, 小濱京子／「転用可能性 (transferability)」再考 (前編) 家高洋



3 号 (5-6 月号) Dr. Patricia A. Grady を迎えて 看護研究者としての成長とキャリアパスを考える
Patricia A. Grady／戸部浩美／真田弘美／後藤大地／西村ユミ／長谷川直人／丸尾智実／山本則子／
鎌倉やよい／金井一薫／萱間真美ほか